

# スピリチュアル物語

## 202話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

### 魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

- Skypeセッション 1時間\$80 / 90分\$115
- メール相談 簡易コース\$15 / 通常コース\$40



「考えてみたら…数字って面白いよね…」ウィザットの発言に「数字はいつ誰が考え出したんですか？」マジヨリアルが新たな質問を投げ掛けた為、髭をネジネジしていたマグワートは再び話し始めた。「シユメール人達によって約6000年前のメソポタミア地方で使われ始めたみたいじゃな」「へえ、そんな大昔からあったんですね」「そもそも数を数えるという行為は、収穫した獲物をカウントし管理する為に考案されたんじゃないよ。『必要は発明の母』じゃな。じゃが、その頃は今の様なアラビア数字ではなく釘

みたいな象形文字を並べて数を表しており、それをバビロニア数字と呼ぶそうじゃ。その後、2300年前頃にインドで今の1〜9のアラビア数字が考案され世界に広まったらしい。但し、その頃には0(ゼロ)は未だなかったんじゃ」「ゼロがなかった?」「空欄を表す記号としてのゼロはバビロニア時代にもあったし、何も無い無<sup>ニ</sup>としての概念はあった様じゃが、数字としての仲間入りはかなり後なんじゃよ。1〜9までの数字は物の数を表しているが、ゼロは何もないという状態な訳で、何も無い状態は数字とは

言えないという考えが強かったのかも知れんな。じゃが、ゼロは数字として扱われる前も空欄を意味する為には必須なものじゃった。例えば今回の物語は202話じゃが、もしもゼロという記号を使わなかったら、22も202も22と表記され紛らわしい。そこで十の位は空欄ですよという意味での記号としての役割でまずゼロが生まれ、位取り記数法として浸透はしておったみたいじゃ」



★これまでのお話(1~201話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

[www.majotomoe.com](http://www.majotomoe.com) 12月22日号につづく